

2019平和行動

in 沖縄報告

「沖縄慰霊の日」である6月23日から24日にかけて、「2019平和行動in沖縄」が開催され、九州地区本部が参加しました。

「2019平和オキナワ集会」を、沖縄空手会館にて「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう」をテーマに15時より開催し、構成組織・地方連合会から1,274名が集結して、沖縄の課題解決に向けて取り組んでいくことを確認しました。

集会は、山本和代連合副事務局長が司会を務め、今回の集会会場が沖縄空手会館であることから、オープニングとして、沖縄空手の三大流派のひとつである、小林流の空手型が披露されました。続いて、第一部として講演会が行われました。島袋秀樹沖縄県知事公室基地対策課調査班長を講師に、「他国地位協定調査について」をテーマに講演をいただきました。講演では、日米地位協定の現状と課題について触れるとともに、他国地位協定調査の目的や方針、内容などについて述べられ、ドイツ、イタリア、ベルギー、イギリスの現地調査結果と日本を含めた5カ国の国内法、管理権、訓練・演習、航空機事故への対応などについて報告されました。今後の取り組みとして、調査対象国を韓国、フィリピン、オーストラリアなどの

アジア諸国等に拡大して、日米地位協定の問題点をさらに明確化していきたいと述べられました。

第二部では、冒頭、参加者全員による黙祷を行い、主催者を代表して相原康伸連合事務局長は、「改めて平和の尊さ、戦争の悲惨さを次の世代にしっかりと語り、継ぎ、二度と悲劇を繰り返さないことを固く誓い合いたい。米軍基地をめぐる問題は、沖縄だけの問題ではなく、日本全体の課題でもある。日本国政府には毅然とした態度で、米国・米軍に対して徹底的な安全管理と再発防止策を求めるよう、連合は政府の姿勢を質していかなくてはならない。ここで学び感じたことを地



域や職場に持ち帰り、今後の運動として展開していただくことを強く期待する」と述べられました。

続いて、大城紀夫連合沖縄会長からは「今沖縄では新たな基地がつくられようとしている。県民は県民投票で圧倒的な反対の民意を示したが、安倍政権は民意を無視している。沖縄の現状を知ってほしい」と述べられ、来賓挨拶では、沖縄県を代表して玉城デニー沖縄県知事の代理として富川盛武副知事よりメッセージの代読と共に、ご臨席いただいた沖縄選出の衆参国會議員の紹介がありました。

続いて、荒木敏安連合北海道副事務局長より、平和メッセーJが述べられた後、大城紀夫連合沖縄会長より竹田恵連合広島事務局長へ連合ピースフラッグが手渡され、次開催地の広島を代表して平和運動への決意が述べられ、最後に、宮城千絵連合沖縄女性委員から平和アピールが読み上げられ、満場一致で採択し集会を終了しました。

2日目は、米軍基地の実情や南部戦跡の視察・学習のため、「ピースワールドワーク」を実施し460名が参加、各所を説明する「ピースガイド」は、今年も連合沖縄の青年女性委員会に加え、連合大分の青年委員会のメンバーが担当して、南部戦跡コース、糸数アブチラガマ(入壕)↓ひめゆりの塔(資料館)↓魂魄の塔↓平和祈念公園(資料館)の順に見学をしました。

ピースワールドワーク終了後、沖縄県庁前県民広場にて、沖縄平和行動の締めくくりとして、650名が参加し、「米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を求める集会を開催し、集会後は沖縄県庁前県民広場から国際通りを牧志公園までデモ行進し、集会に込めた思いを強く訴えました。



隣家の火事が我が家に！ さて、保障はどうなる？

交運共済の火災共済なら、自家出火はもちろん
隣家の火災による被害も保障。
地震や台風などの自然災害保障も充実。



大切な家が災害にあつたら

火災共済/地震風水害共済

みんなで暮らしをガード
交運共済
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

九州交運労協第16回交通運輸研究集会報告

6月20日（木）・21日（金）

の両日、大分県日田市「みくまホテル」において、九州交運労協主催による、「第16回交通運輸研究集会」が開催され、九州地区本部が参加しました。主催者を代表して大庭議長（北九州市交通局労組）は、「本集会も16回目を迎え、その時々的情勢や課題に対する認識統一を図り、個々の産別が抱える政策課題や、現場実態の情勢交換を行ってきた。その中から政策要求として掲げるもの、関係諸団体に対して要請行動など、交通運輸に関する諸課題の克服に向けた取り組みを展開し、一定の成果を上げてきた」と、今回は「働き方改革」の両面を軸とした報告を行いました。



基調講話は、日田労働基準監督署田中署長より、「働き方改革関連法」の全体像について、交運労協高松事務局長より、「労働力不足と対応」について、約2時間にわたり、それぞれ講義されました。その後、6分科会（鉄道、軌道、バス、ハイタク、トラック・港湾、観光・レジャー）に分かれ、政策・制度要求案を基本に討議を行い、九州運輸局に提出する骨子をつくり上げました。鉄道部会での貨物関係については、「昨年と同様、JR貨物のインフラ整備に対する助成制度の拡充や、税制上の特例措置を拡充・強化されたい。防災、減災対策として、貨物鉄道が運行する施設、設備を保有する旅客鉄道会社に対し、強靱化対策に対する財政支援を行われた」と発言しました。

JR 連合福岡県協主催安全交流会報告

5月31日に連合福岡県協議会主催の安全交流会が開催され、九州地区本部が参加しました。今回は、北九州高速鉄道企救丘総合基地への視察に行き、工場内の見学や、安全への取り組み等のビデオを視聴し、その後、福岡県協での安全への取り組みを提起し、質疑応答では、お互いの安全に対する思いや取り組み等を発言し討議を深めました。場所を移動し、意見交換会並びに親睦会を行い、お互いの会社、組合などの取組みや情勢などの意見交換をし、更なる親睦を深めました。



北労組メロン物販のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

※注文書は各地区本部にありませぬ。ご購入して頂ける方は、本部役員・地区本部役員までお問い合わせください。

第25回参议院議員選挙 7月21日（日）投票日

7月4日（木）公示され、7月21日（日）が投票日となります。国政に対する審判、意思表示のため、「選挙」は国民の大切な政治行動と言えます。積極的な投票行動をお願いします。

火災共済とセットで、地震、暴風雨などの被害を保障。

台風に限らず、突風、高波、津波、洪水、豪雨、雪崩れ、降雪などの被害を保障。
地震風水害共済なら、さらに強盗や窃盗による被害に対しても共済金をお支払いします。



みんなで暮らしをガード
全国交運労働者共済生活協賛会

大切な家が災害にあつたら

火災共済/地震風水害共済